

平成 19 年 5 月 21 日

各 位

会 社 名 OUGホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 溝 上 源 二
(コード番号 8041 大証 第一部)
問 合 せ 先 常務執行役員
総合企画グループ担当 増 田 安 利
電 話 番 号 06-4804-3032

会 社 名 大栄太源株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 村 松 保 範
(コード番号 8299 大証 第二部)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員
事務管理本部本部長 本 間 進
電 話 番 号 06-6271-9595

株式交換契約締結に関するお知らせ

OUGホールディングス株式会社（以下「OUGホールディングス」といいます。）と大栄太源株式会社（以下「大栄太源」といいます。）は、平成19年4月13日開催の取締役会において、OUGホールディングスを完全親会社とし、大栄太源を完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）について覚書を締結いたしました。両社は本日開催の取締役会において、本株式交換を行うことを決議し、株式交換契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式交換による完全子会社化の目的

OUGホールディングスは、大栄太源の完全子会社化を目指して、平成19年4月16日から平成19年5月16日まで、大栄太源株式の公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を実施しており、本公開買付けの決済日である平成19年5月23日現在において13,206,226株（発行済株式総数に対する所有株式等の割合93.40%）を保有することとなります。

OUGホールディングス及びOUGグループは「水産物をコアとし、お客様に価値ある商品とサービスを提供することにより、食文化の発展に貢献します」をグループ経営理念とし、現状の「水産物流通業」からより進化した業態である「水産物流通サービス業」を創造することにより、企業価値を最大化することを目指しております。

ここでいいます「水産物流通サービス業」とは、水産物をコアとして、品揃えや販促などの「商的流通機能」、保管や物流などの「物的流通機能」、「情報流通機能」を総合的に遂行し、生産者から消費者までの水産物流通のトータルシステムを構築することにより、顧客のニーズを満たして利

益を得る事業を意味し、「荷受事業（水産物が卸売市場を経由する卸売事業）」と「市場外事業（水産物が卸売市場を経由しない卸売事業）」の2つの事業をコア事業と位置づけております。

このうち、「市場外事業」につきましては、成長エンジンとなりうる事業と位置づけ、地域を基軸とした顧客起点経営への転換を推進していくことを、OUGグループの基本戦略の一つとして掲げ、OUGグループは、当該戦略を実現するとともに、「荷受事業」の持つ市場機能を活用し強化していくため、「市場外事業」の再編に取り組んでまいります。すなわち、地域によって顧客の嗜好が異なるとともに、今後の人口減少のスピードに差があることを踏まえると、地域ごとに顧客ニーズへの対応・囲い込みを推進していく必要があり、地域ごとでの取り組みが重要となってくるため、「北海道・東北」、「関東」、「中部」、「近畿」、「中・四国」、「九州」の6つの地域ごとに事業戦略を推進するために「市場外事業」を再編し、競争力を強化することで、OUGグループ全体の企業価値を向上させることができる体制を構築いたします。

そこで、本公開買付けの対象企業であり、上場子会社である大栄太源に加えて、近畿地区を基盤とする株式会社スイチョコ（以下「スイチョコ」といいます。）及び西日本地区を基盤とするやまは食品株式会社（以下「やまは食品」といいます。）の3つの市場外事業会社（以下「3市場外事業会社」といいます。）を将来的に統合・再編することを予定しております。

大栄太源は全国に外中食産業の強い顧客基盤を保有しており、スイチョコは内食産業の顧客基盤に強みを持ち、やまは食品は外中内食産業の顧客基盤があります。3市場外事業会社それぞれが保有する顧客基盤と経営資源を相互補完・活用することによって、事業としての競争力の強化と、地域を基軸とした顧客起点経営への転換を図ることがグループ企業価値を高めることになると考えております。

一方、大栄太源は全国に張り巡らせた販売ネットワークを持って水産物販売を行っておりますが、激しい流通変化に対応していくために、今までの顧客基盤だけでなく新たな業態別・顧客別対応を進めていくことが課題であります。このためには、OUGグループが保有する経営資源を相互補完・活用することにより、事業としての競争力を強化する必要があります。こうした取り組みにより、大栄太源自体としても企業価値を高めることができると考えております。

以上のことから、中期経営計画に基づく革新的な将来の統合・再編と事業戦略の推進のため、大栄太源を完全子会社化することが最善と判断し、本日、株式交換契約を締結いたしました。

利益相反を回避する措置として、OUGホールディングスにおける本株式交換契約承認の取締役会決議について、大栄太源の代表取締役を兼任しているOUGホールディングスの取締役である久保田博氏は、特別利害関係人として係る決議に参加していません。

また、大栄太源における本株式交換契約承認の取締役会決議について、OUGホールディングスの代表取締役を兼任している大栄太源の取締役である溝上源二氏は、特別利害関係人として係る決議には参加していません。

なお、大阪証券取引所に上場している大栄太源は、平成19年9月25日に上場廃止となる予定です。

2. 株式交換の要旨

(1) 株式交換の日程

平成 19 年 5 月 21 日 (月) 株式交換の取締役会決議 (両社)

平成 19 年 5 月 21 日 (月) 株式交換契約締結 (両社)

(以下予定)

平成 19 年 9 月 25 日 (火) 大栄太源株式 大阪証券取引所上場廃止

平成 19 年 10 月 1 日 (月) 株式交換の効力発生日

平成 19 年 11 月 20 日 (火) 株券交付日

(注) OUGホールディングスは、会社法第 796 条第 3 項の規定に基づき、株主総会の承認を必要としない簡易株式交換の手続きにより行います。また、大栄太源は、会社法第 784 条第 1 項の規定に基づき、株主総会の承認を必要としない略式株式交換の手続きにより行います。

(2) 株式交換比率

会社名	OUGホールディングス (完全親会社)	大栄太源 (完全子会社)
株式交換比率	1	2.1

(注 1) 株式の割当比率

大栄太源の普通株式1株に対して、OUGホールディングスの普通株式2.1株を割当交付いたします。但し、OUGホールディングスが保有する大栄太源株式13,206,226株については、株式交換による株式の割当交付は行いません。

(注 2) 株式交換により発行する新株式数等

OUGホールディングスは、普通株式260,000株を新たに発行し、これにOUGホールディングスが保有する自己株式1,700,014株を合わせた合計1,960,014株を、平成19年9月30日の最終の大栄太源の株主名簿(実質株主名簿を含みます。)に記載又は記録された大栄太源株主(実質株主を含みます。但し、OUGホールディングスを除きます。)に対し、割当交付いたします。

(3) 株式交換比率の算定根拠等

① 算定の基礎及び経緯

株式交換の株式交換比率については、その公正性・妥当性を確保するため、各社が個別独自に第三者機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、OUGホールディングスは野村証券株式会社(以下、「野村証券」といいます。)を、大栄太源は株式会社KPMG FAS(以下、「KPMG FAS」といいます。)を、それぞれ第三者算定機関として選定しました。

なお、上記第三者算定人による算定結果の概要は以下のとおりです。

野村証券は、OUGホールディングス及び大栄太源について、以下のとおり、市場株価平均法、ディスカунテッド・キャッシュ・フロー法(以下「DCF法」といいます。)及び類似会社比較法に基づき株式交換比率を算定いたしました。

- イ. 市場株価平均法では、OUGホールディングスが平成19年2月14日に「平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況」及び「近畿地区における水産物荷受事業を凍結することについて」を公表していることから、その公表日翌日の平成19年2月15日以降を重視した上で、できるだけ短期間の変動を取り除くという観点から、基準日（平成19年4月9日）から遡る平成19年2月15日まで及び基準日（平成19年4月9日）から遡る平成19年3月12日までの直近1ヶ月といたしました。大栄太源については、基準日（平成19年4月9日）から遡る平成19年3月12日までの直近1ヶ月（以下「1ヶ月平均」といいます。）といたしました。なお、大栄太源は平成19年3月29日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますが、その公表日翌日以降、基準日（平成19年4月9日）までの期間、大阪証券取引所において取引がされていないことから1ヶ月平均のみ採用しております。その結果、市場株価平均法による株式交換比率は1.71～1.74と算定いたしました。
- ロ. DCF法では、OUGホールディングス又は大栄太源が将来獲得することを期待されるキャッシュ・フローを、それぞれ一定の割引率で現在価値に割り引くことによって企業価値を評価しました。その結果、DCF法による株式交換比率は0.74～2.14と算定いたしました。
- ハ. 類似会社比較法では、OUGホールディングス又は大栄太源と事業が類似している上場企業の、企業価値に対するEBITDAマルチプル及びEBITマルチプル並びに株式価値に対する修正純利益（経常利益に（1－法定実効税率）を乗じて算出）マルチプルをそれぞれ求め、その比較を通じて株式価値を評価しました。その結果、類似会社比較法による株式交換比率は0.68～2.91と算定いたしました。

なお、野村證券は、株式交換比率の算定に際して、各当事会社から提供を受けた情報及び一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの資料及び情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。また、各当事会社（とその関係会社）の資産又は負債（偶発債務を含みます。）について、個別の各資産及び各負債の分析並びに評価を含め、独自に評価、鑑定又は査定を行っておらず、第三者機関への鑑定又は査定の依頼も行っておりません。当事会社の財務予測については、各当事会社の経営陣により現時点で得られる最善の予測と判断に基づき合理的に作成されていることを前提としております。

KPMG FASは、OUGホールディングス及び大栄太源について、以下のとおり、市場株価平均法、DCF法及び修正純資産法による分析を行い、本株式交換にかかる諸条件を総合的に勘案した結果、株式交換比率を1.84～2.18と算定いたしました。

- イ. 市場株価平均法では、OUGホールディングス及び大栄太源の市場株価の測定にあたり、短期間の株価変動による影響を取り除く観点から、基準日（平成19年4月11日）から遡る平成19年1月12日までの直近3ヶ月及び基準日（平成19年4月11日）から遡る平成18年10月12日までの直近6ヶ月の市場株価終値平均を採用いたしました。なお、大栄太源に関する市場株価平均法による評価においては、大栄太源株主に対して本公開買付け及び本株式交換について公平な選択機会を提供する観点から、大栄太源の市場株価に公開買付けの過去事例等に基づくプレミアム分析の結果を加味したプレミアム考慮後の評価結果を採用しております。

ロ. DCF法では、OUGホールディングス又は大栄太源が将来獲得することを期待されるキャッシュ・フローを、それぞれ一定の割引率で現在価値に割り引くことによって企業価値を評価しました。

ハ. 修正純資産法では、OUGホールディングス又は大栄太源の貸借対照表における資産・負債を基準日（平成18年9月30日）時点（但し、資産の減損等の一定の後発事象を考慮しております。）での時価に評価替えを行い、その資産と負債の差額である純資産額を算定することによって企業価値を評価しました。

なお、KPMG FASは、株式交換比率の算定に際して、各当事会社から提供を受けた情報及び一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの資料及び情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。また、各当事会社（とその関係会社）の資産又は負債（偶発債務を含みます。）について、個別の各資産及び各負債の分析並びに評価を含め、独自に評価、鑑定又は査定を行っておらず、第三者機関への鑑定又は査定の依頼も行っておりません。当事会社の財務予測については、各当事会社の経営陣により現時点で得られる最善の予測と判断に基づき合理的に作成されていることを前提としております。

② 算定機関との関係

第三者算定機関である野村證券及びKPMG FASは、OUGホールディングス及び大栄太源の関連当事者には該当しません。

(4) 株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い
該当事項はありません。

(5) 株式交換交付金
株式交換交付金の支払いはありません。

3. 株式交換の当事会社の概要

(平成19年3月末現在)

(1)商号	OUGホールディングス株式会社	大栄太源株式会社
(2)主な事業内容	純粹持株会社	水産物卸売業
(3)設立年月日	昭和21年6月12日	昭和24年6月18日
(4)本店所在地	大阪市福島区野田一丁目1番86号 大阪市中央卸売市場内	大阪府中央区日本橋一丁目22番25号
(5)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 溝上 源二	代表取締役社長 村松 保範
(6)資本金	6,495百万円	5,211百万円
(7)発行済株式数	55,362,921株	14,139,566株
(8)純資産（連結）	25,412百万円	14,083百万円
(9)総資産（連結）	89,415百万円	29,456百万円
(10)決算期	3月	3月

(11)従業員数（連結）	1,399名	517名
(12)主要取引先		(販売先) 大阪魚市場(株) マリンフーズ(株) (株)極洋
		(仕入先) 阪和興業(株) マルハ(株) (株)ニチロ
(13)大株主及び 持株比率	株式会社マルハグループ本社 10.52% 日本生命保険相互会社 6.65% 農林中央金庫 4.76% 株式会社みずほ銀行 4.66% バンクオブニューヨークジー 4.07% シーエムクライアントアカウ ンツイーアイエスジー	OUGホールディングス株式会社 54.76% 農林中央金庫 4.59% 大栄太源社員持株会 3.32% 大栄太源取引先持株会 3.18% ソシエテジェネラルエヌアール 2.68% エイエヌオーディティティ
(14)主要取引銀行	農林中央金庫 株式会社みずほ銀行、他	農林中央金庫 株式会社三菱東京UFJ銀行、他
(15)当事会社間の 関係等	資本関係 (注1)	OUGホールディングスは、大栄太源の発行済株式総数の93.40%（13,206,226株）を所有しております。（平成19年5月23日時点）
	人的関係	取締役が2名兼務しております。
	取引関係	大栄太源はOUGホールディングス傘下の事業会社と商品の仕入・販売取引を行っております。
	関連当事者への 該当状況	大栄太源は、OUGホールディングスの連結子会社であります。

(注1) 平成19年4月16日から平成19年5月16日までの間、OUGホールディングスが本公開買付けを実施したことにより、本公開買付けの決済日である平成19年5月23日時点でOUGホールディングスの大栄太源の発行済株式総数に対する持株比率は93.40%となります。

(16)最近3年間の連結業績

	OUGホールディングス株式会社			大栄太源株式会社		
	H17/3 実績	H18/3 実績	H19/3 実績	H17/3 実績	H18/3 実績	H19/3 実績
売上高（百万円）	378,842	375,022	376,841	90,517	88,852	92,055
営業利益（百万円）	2,902	1,496	2,638	463	143	14
経常利益（百万円）	2,965	1,619	2,621	482	211	37
当期純損益（百万円）	818	10	811	232	▲7	▲127
1株当たり当期純損益（円）	13.93	0.15	15.10	14.80	▲0.52	▲9.12
1株当たり年間配当金（円）	7.50	7.50	7.50	10.00	10.00	10.00
1株当たり純資産（円）	343.38	358.32	355.55	1,099.19	1,021.10	1,008.96

4. 株式交換後の状況

(1)商号	OUGホールディングス株式会社
(2)主な事業内容	純粹持株会社
(3)本店所在地	大阪市福島区野田一丁目1番86号 大阪市中央卸売市場内
(4)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 溝上 源二
(5)資本金	6,495百万円
(6)総資産(連結)	現時点では確定していません。
(7)純資産(連結)	現時点では確定していません。
(8)決算期	3月

(9) 会計処理の概要

① 企業統合の会計上の分類

少数株主との取引に該当する見込みです。

② 損益への影響

本株式交換により負ののれんが発生する見込みであります。この負ののれんについては、5年間で均等償却いたします。

(10) 株式交換による業績への影響の見通し

大栄太源は、現在OUGホールディングスの連結子会社でありますので、本株式交換によるOUGホールディングスの業績への影響は、連結・単体ともに軽微であると見込んでおります。

以上